



トヨタ マークX

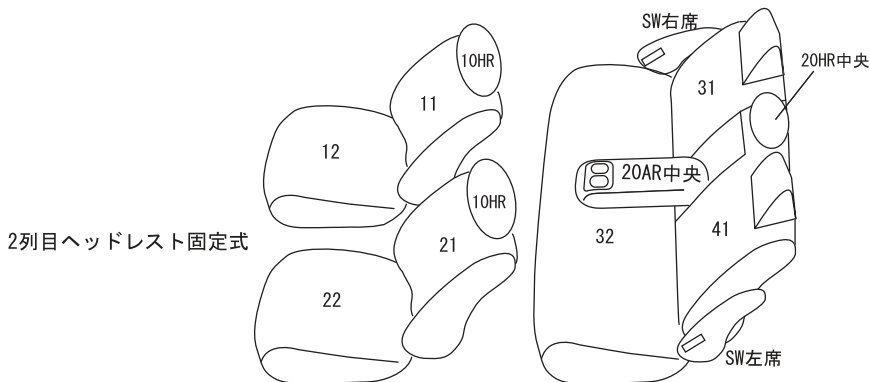
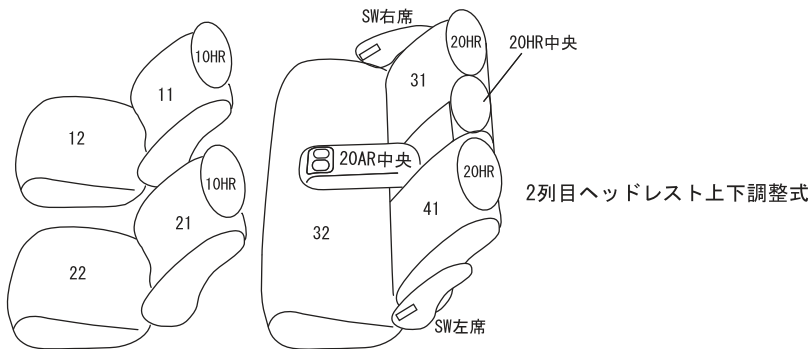
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

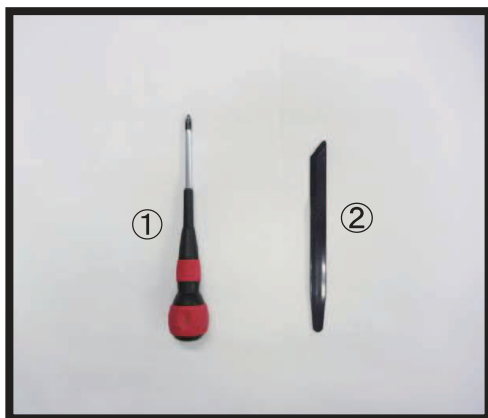
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1400/1401/1402/1403/1404

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①ドライバー
- ②ヘラ(付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。





- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

助手席パワーシート車

※車種によっては、パワーシートのスイッチ部には加工が必要です



①カバーをきちんと取り付けました状態にします。パワーシートのスイッチ部を手で触りながら角部分から内側に7mmの位置に目印を付けます。



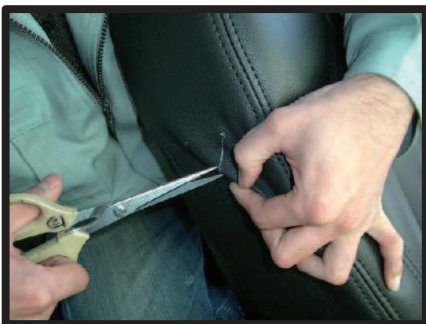
④最初に×印に切り込みを入れ、次に×印の端同士を結ぶように生地を切り落とし、四角形の穴にします。



②次に、目印を対角線で結ぶように×印を描きます。



⑤シート本体とスイッチのプラスチックとの隙間に、切り抜いたカバーを入れ込みます。



③シート本体やスイッチを傷つけないように、カバーをつまみながらハサミ等を使用して切り込みを入れます。

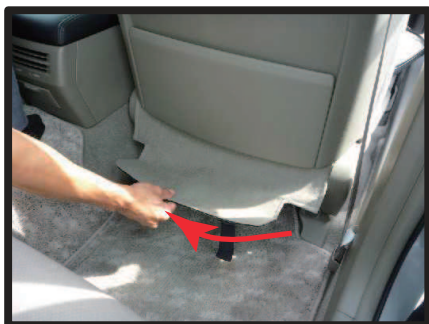


⑥助手席パワーシートのスイッチ部はこのようになります。

1 列目座面(手動シート)

※電動シートは①②③をご覧の後、3ページへお進み下さい。

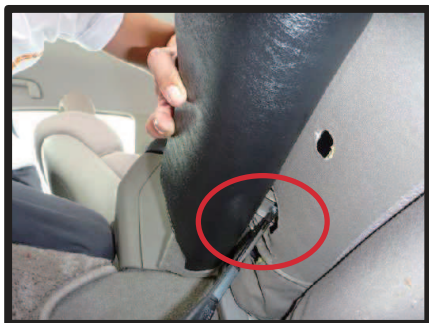
助手席のみ手動シートの場合は、助手席座面カバー装着時、こちらのページを参考に
取り付けを行って下さい。



①カバー取り付け前に、背もたれ背面の樹脂カバーを外します。
背もたれ背面下から座面裏に回っている部分を、座面裏でフックを外しめくり上げます。



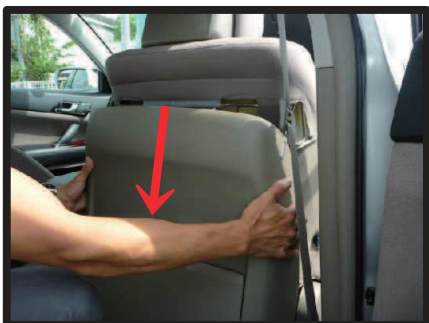
④カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



②①部分をめくり上げた状態で、背もたれ背面下のネジをドライバーを使い外します(2ヶ所)。



⑤シート全体にカバーをかぶせます。



③背もたれ背面の樹脂カバーを、矢印方向に引っ張り外します。



⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



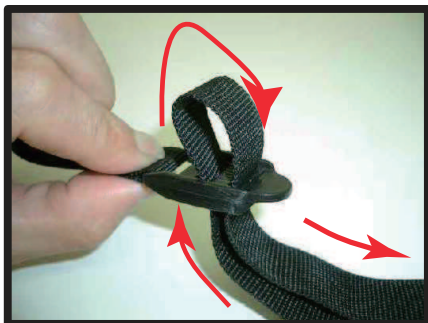
⑦入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑩座面カバー前方にベルトが付いています。ベルトは座面裏を通して、シート背面から引き出します。



⑧シート側面の生地をプラスチック部に入れ込みます。ヘラのようなものを使用すると作業が行いやすくなります。



⑪ベルトは始めにバックルの真ん中を通して折り返し、端に通します。通したヒモを引きカバーの前後を固定します。※ベルトは強く引きすぎると切れますのでご注意ください。



⑨助手席側には⑧の作業の際にシートから金属部が出ていて生地を入れ込みにくくなっています。プラスチック部を外に広げながら生地を慎重に入れ込んで下さい。



⑫カバーのラインを整えて1列目座面の完成です。助手席側は⑨の件に注意して同様に取り付けます。

1 列目座面(電動シート)

※カバーを取り付ける前に1ページの①②③の作業を行って下さい。



①シート前方部を最大に出した状態で取り付けを行います。シート前方に引っ掛けるようにカバーを矢印方向にかぶせます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



②シート両端の突起部にカバーをしっかりと入れ込みます。



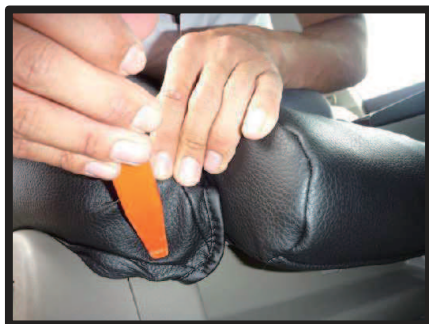
⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



③シートの内側も生地をしっかりと入れ込みます。



⑥シート側面の生地をプラスチック部に入れ込みます。ヘラのようなものを使用すると作業が行ないやすくなります。



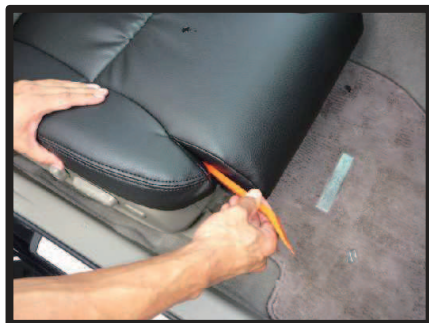
⑦シート側面から前方まで、プラスチック部へ生地をしっかりと入れ込みます。



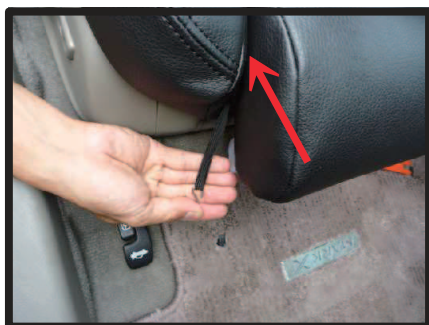
⑩両端のゴム同士をS字フックでつなぎます。



⑧シート内側の生地をバックル下のプラスチック部に挟み込みます



⑪図の隙間に生地をしっかりと入れ込みます。



⑨座面カバーの矢印裏にゴムが付いています(両端2ヶ所)。ゴムを引き出し付属のS字フックを取り付けます。



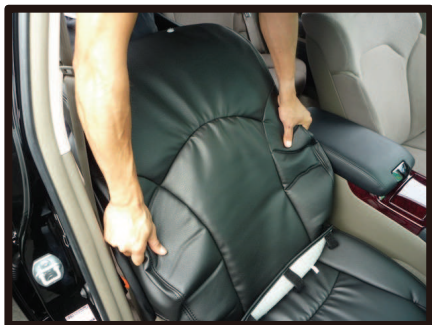
⑫カバーのラインを整えて1列目座面の完成です。
助手席側も電動シートの車は同様に取り付け、手動シートの車は1、2ページを参考に取り付けを行ってください。

1 列目背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



④シートの張り出し部分にシワがよらないよう、矢印方向に生地を馴染ませていきます。この作業の後、再度③の作業を行います。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑤③で引き出した生地に付いているマジックテープのベルトを、図のようにシート背面の金属部に巻き付け固定します。



③入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑥シート背面からカバー側面のベルトを固定します。



⑦カバー側面下から出ているヒモを、片方のヒモで輪を作り、もう片方のヒモをその輪に通します。



⑧通したヒモを引き絞って結び留めます。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、⑤⑥⑦⑧の固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



⑨ヘッドレストの台座を取り出します。片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



⑩生地の伸びを利用して台座を取り出します。加工穴から綿がはみ出る場合は台座のふちに巻き付けるように仕舞い込みます。

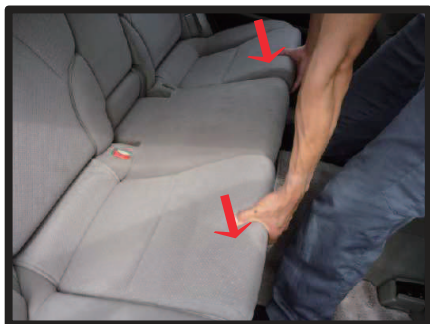


⑪1ページの①②③で外した樹脂カバーを元通りに戻します。シートカバーの反発があるため、樹脂カバーを戻す際はしっかりとツメ部分を押し込んでから固定し直します。



⑫サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。カバーのラインを整えて1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面



①シートを車体から取り外しカバーの取り付けを行います。シートは矢印裏にフックで固定されています。シートを上へ持ち上げるように力を入れて外します。



④カバーの加工穴からシート背面の突起を取り出します。



②外したシートを車外へ運び出します。シートを車内から運び出す際は、車のボディに傷を付けたりしないように慎重に行ってください。



⑤図の部分は矢印方向にカバーを入れ込みます。



③図のカバーをめくり上げた状態でカバーの取り付けを行います。



⑥③でめくり上げたカバーの裏にチャイルドシート固定バー用の加工穴があります。その穴にカバー裏に取り付けているベルトを通します



⑦シート全体にカバーをかぶせます。



⑩カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。
シートはカバーの取り付けが全て終了後に元に戻すようにして下さい。



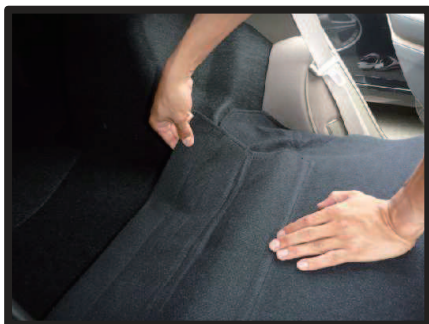
⑧シートを裏返して、シート裏で前後のベルト6本を固定します。



⑨シート側面から出ているヒモを引き絞り結び留めます。

2列目背もたれ

※座面シートを外した跡に汚れが付いている場合がありますので、よく拭き取ってから作業を行って下さい。2列目背もたれは、ヘッドレスト上下調整式、助手席側の図を載せています。



①シート裏のバックボードを取り外しカバーの取り付けを行います。図の部分は裏でフックで固定されています。引き抜くように外します。



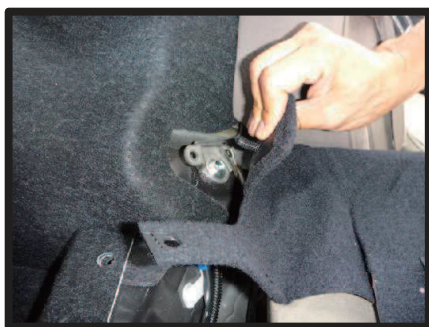
④バックボード裏は全てツメで金属部に引っ掛け固定されています。バックボードを上へ持ち上げるようにツメを外します。



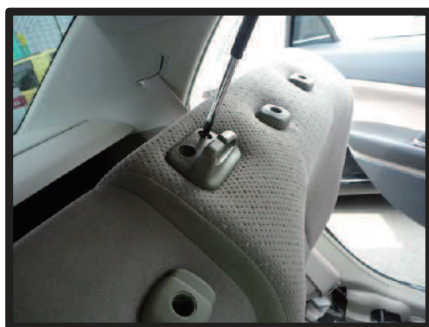
②①部分を外した裏の図です。



⑤ツメが外れたらバックボードを矢印方向に取り外します。



③シートのボディー側にもフックで固定されている部分があります。引き抜くように外します。



⑥シートベルトを通すガイドを外します。ネジ2本で固定されていますのでドライバーを使い外します。



⑦背もたれカバーをかぶせます。
※ヘッドレスト固定式の背もたれは、
ヘッドレストの頂点までしっかりと
カバーをかぶせて下さい。



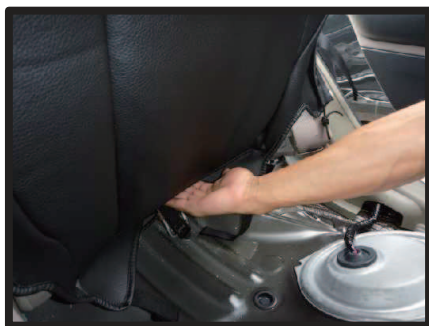
⑩背面から生地を引き出します。



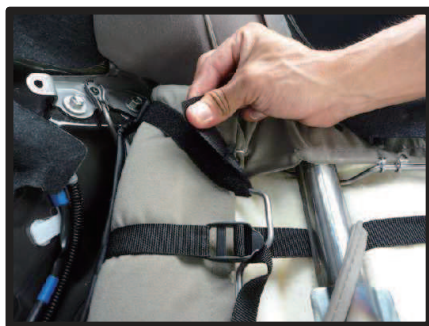
⑧ヘッドレストの台座を取り出します。



⑪シート背面からカバー上下のベルト
を固定します。ベルトは金属フレー
ムの下を通すようにして矢印部の固
くなっているシートの上を通すよう
にしてください。

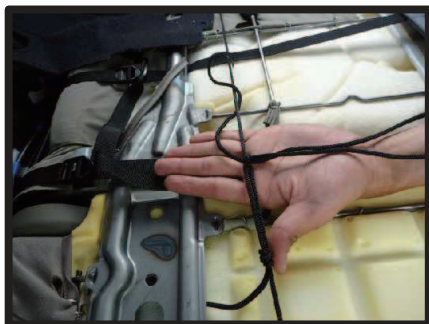


⑨背もたれ下からカバーを背面へ回し
ます。



⑫⑩で引き出した生地の外側には、マ
ジックテープのベルトを付けていま
す。ベルトは金属フレームに巻き付
け固定します。

2列目背もたれ続き



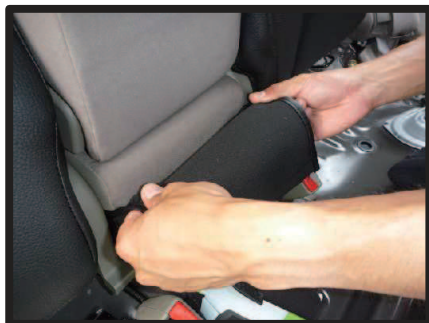
⑬カバー両側面から出ているヒモを引き絞り結び留めます。



⑭アームレスト下にカバーをかぶせませす。(背もたれカバーとは別パーツ)シート背面からカバーを引っ掛けるようにかぶせませす。



⑮背もたれ下のフチに生地を入れ込みませす。



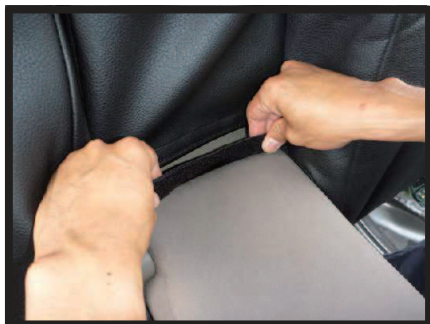
⑯シートを起こしカバーを前面に包み込むよう引き出ませす。



⑰アームレスト収納部のカバーにマジックテープを取り付けています。マジックテープをシート本体に貼り付け固定ませす。



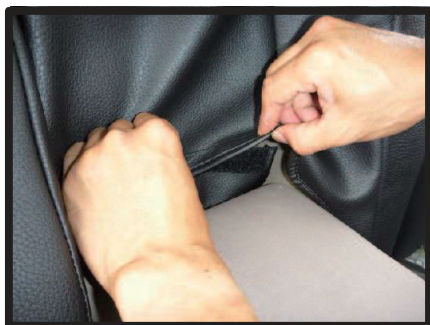
⑱アームレストの下から生地を入れ込みませす。



⑱入れ込んだ生地を引き出します。



⑳バックボードを元に戻します。
戻す前にボード裏のツメ位置を確認しておきます。



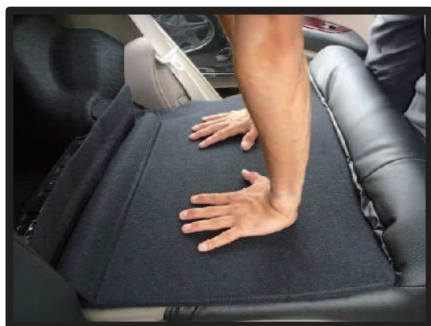
㉑引き出した生地と背もたれカバーの
アームレスト収納部を、マジックテ
ープで固定します



㉒バックボードを矢印方向にはめ込み
ます。



㉓シートベルトを通すガイドを元に戻
します。

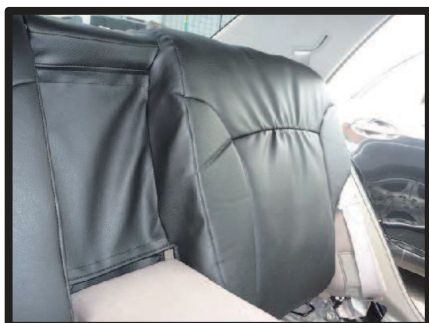


㉔ボード裏のツメ位置を意識して押さ
え込み、ツメをはめていきます。

2列目背もたれ続き



- ②5 バックボードをしっかりと戻せたらバックボードのフチに生地を入れ込みます。

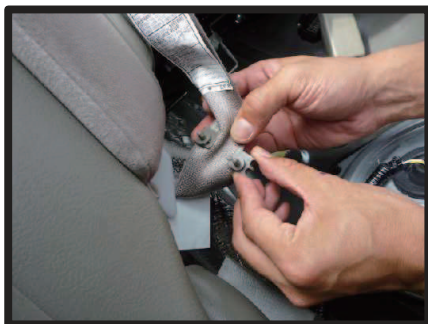


- ②6 カバーのラインを整えて2列目背もたれの完成です。
運転席側、ヘッドレスト固定式背もたれは形状が異なりますが同様の固定方法で取り付けを行います。

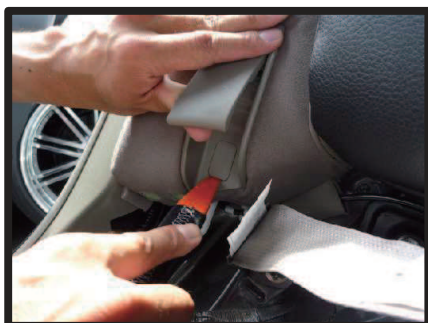


- ②7 2列目背ヘッドレスト固定式背もたれの完成図です。

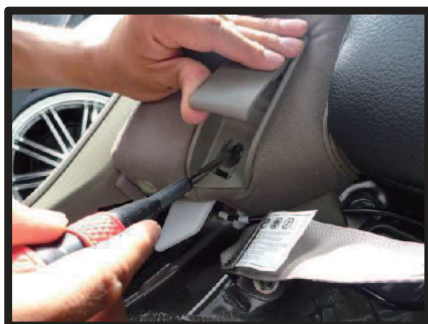
2列目サイドパーツ



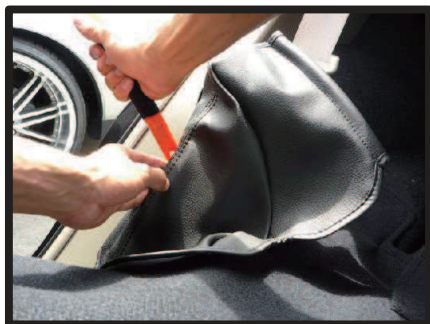
- ① サイドパーツの下部にシートベルトのガイドがあります。ガイドは引き抜くように外します。



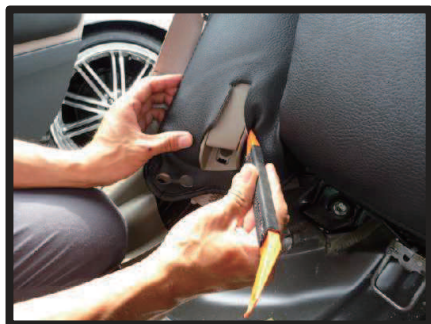
- ② レバー内のプラスチックカバーを外します。ヘラや針のような先の細いものを使用し外します。



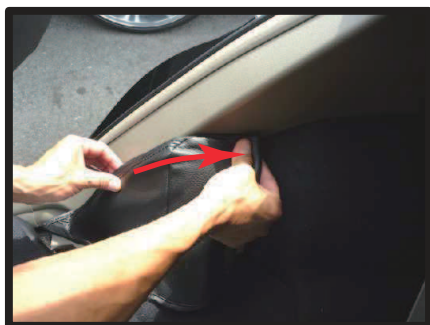
- ③ プラスチックカバー内のネジをドライバーを使用し外します。ネジを外すとレバー部分が緩んだ状態になります。



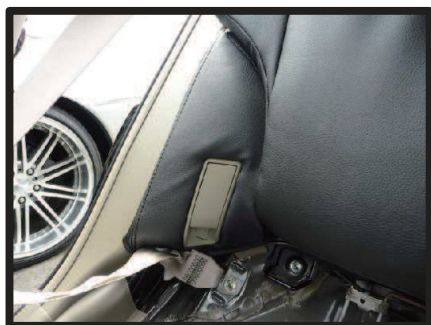
④サイドパーツとボディのフチに生地を入れ込みます。



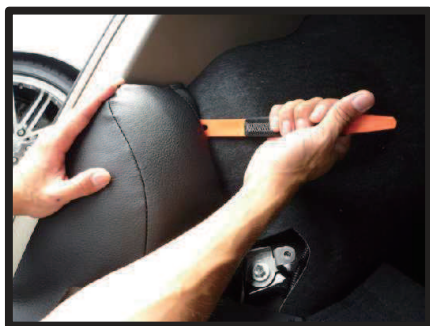
⑦レバーのフチに生地を入れ込みます。



⑤矢印の方向に生地を入れ込みます。
サイドパーツ全体を包み込むように
カバーをかぶせます。



⑧レバーを元通りに取り付け、シートベルトのガイドを元に戻し、サイドパーツの完成です。



⑥サイドパーツ裏の生地を入れ込みます。

1列目ヘッドレスト



①ヘッドレストの先端(矢印部分)までカバーをしっかりとかぶせます。



④ヘッドレストの背面、裏部分は図のように仕上がります。



②ヘッドレスト背面からプラスチック部と布地の隙間に生地を入れ込みます。



⑤ヘッドレストを背もたれに戻し1列目ヘッドレストの完成です。



③ヘッドレスト裏も生地を入れ込みます。

2列目ヘッドレスト



①カバーを矢印方向に下から上へかぶせます。



④フックはカギ状のフックに平らなプラスチック部を、生地とともに入れ込み固定します。



②ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



⑤ヘッドレスト裏はこのようになります。

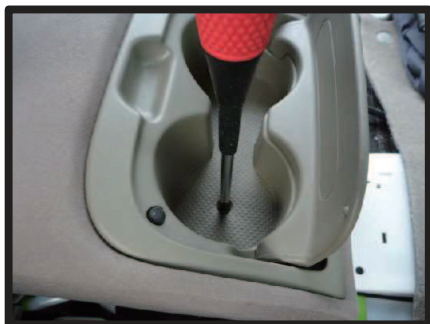


③ヘッドレストを背もたれから取り外し、ヘッドレスト裏のフックで固定します。

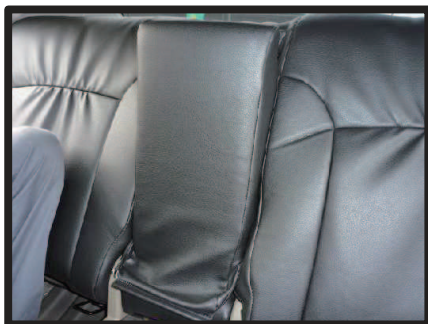


⑥ヘッドレストは背もたれに戻し2列目ヘッドレストの完成です。

2列目アームレスト



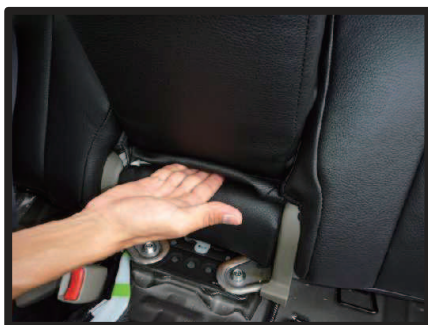
- ①ドリンクホルダーを外します。
中敷きの生地を取り外すとネジが2本あるのでドライバーを使用し外します。



- ④アームレストのラインからずれないようにカバー全体をかぶせます。



- ②ネジを外すとドリンクホルダー部分が外れます。



- ⑤アームレスト下に生地を入れ込みます。生地を入れ込む際は、手で入れ込みながらアームレストを倒す、起こすを繰り返すと生地が入り込んでいきます。

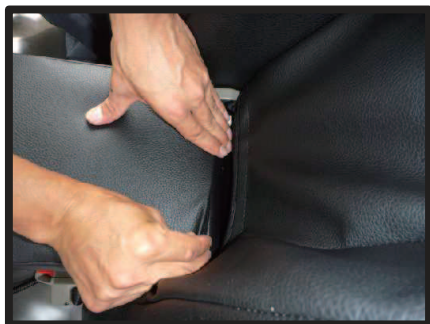


- ③カバーを裏返してアームレストのラインに合わせてかぶせます。この際アームレストの先端までしっかりと入れ込んで下さい。

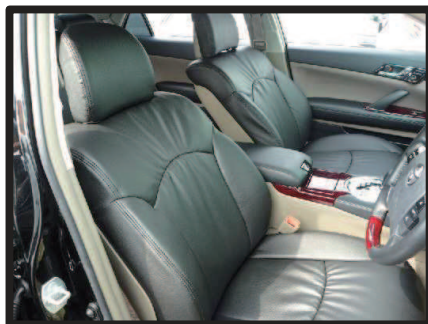


- ⑥入れ込んだ生地を引き出します。

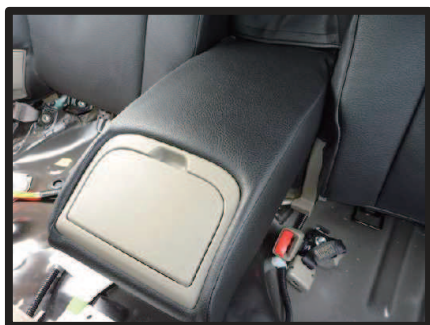
完成図



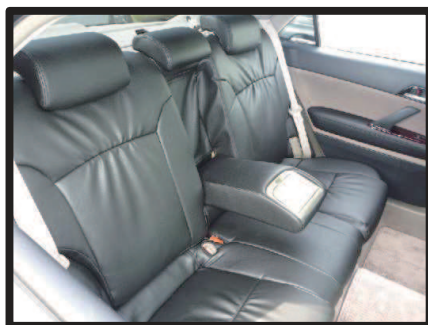
⑦ヘッドレスト同様プラスチックのフックで固定します。



1列目



⑧ドリンクホルダーを元通りに戻し、2列目アームレストの完成です。



2列目

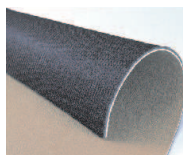


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

